はじめに

M-Audio Drum and Bass Rigソフトウエアをお買い上げ頂きまして誠に有り難うございます。Drum and Bass Rigには、4種類の高品位なインストゥルメントが搭載されています。

- **LC-5 Loop Creator**はロードしたオーディオファイルを使ってテンポ・シンクのリズムをクリエイトします。
- **BL-6 Bassline**はサブトラクティブシンセに、ステップシーケンサーを組み合わせました。
- **RD-7 Real Drum Module**はGMドラムマップ対応のリアルなドラムサウンドが100種類以上搭載されています。
- **EB-8 Electric Bass**はアコースティックベースとエレクトリックベースの本格的なモデルサウンドです。

動作環境

Windows

- Pentium® III 500MHzまたはAMD7（P4 / Athlon 1GHz以上推奨）
- 256MB以上のRAM
- ハードディスクに600MBの空き
- Windows® XP
- VST 2.0対応のホスト・アプリケーション
- MIDIインターフェイス
- CD-ROMドライブ
- インターネット接続環境（ソフトウエア認証に必要です）

Macintosh

- Power Macintosh® G3 500MHz（G4以上推奨）
- 256MB以上のRAM
- ハードディスクに600MBの空き
- Mac® OS X 10.3以降
- VST 2.0、AU、RTAS対応のホスト・アプリケーション
- MIDIインターフェイス
- CD-ROMドライブ
- インターネット接続環境（ソフトウエア認証に必要です）

インストールの方法

注意：インストール用のCD-ROMにはM-Audio Drum and Bass Rigの他にM-Audio Key Rigのインストーラも含まれます。Drum and Bass Rigのパッケージには M-Audio Drum and Bass Rigの認証コードのみ含まれています。M-Audio Key Rigはデモバージョンとして有効期限が切れるまで30日間お試し頂けます。

Windows

1. コンピュータのCD-ROMにM-Audio Drum and Bass Rig CD-ROMを挿入します。
2. CDを開き「M-Audio Drum and Bass Rig Setup」ファイルをダブルクリックするとインストーラが起動します。
3. インストールの途中で2度コンピュータのディレクトリを指定する必要があります。最初のディレクトリはVSTプラグインのディレクトリです。これはM-Audio Drum and Bass Rig VSTプラグインがインストールされる場所です。2つ目のディレクトリはDrum and Bass Rigのサウンドデータ・ファイルです。このファイルのサイズは約260MBで、必要に応じてプログラムとは別の場所に保存することができます。
4. インストールが終了したら「Finish（完了）」をクリックします。
5. 以上でM-Audio Drum and Bass Rigはコンピュータにインストールされました。お使いになる前にソフトウエア認証の手続きを済ませる必要があります。次の「認証」のセクションを参照して下さい。

Macintosh

1. コンピュータのCD-ROMにM-Audio Drum and Bass Rig CD-ROMを挿入します。
2. デスクトップに表示されるCDのアイコンをダブルクリックします。
3. お使いになるプラグイン・フォーマットのフォルダを開きます。（AU、RTAS、VSTまたはスタンドアロン）
4. インストールが終了したら「閉じる」をクリックします。
5. 以上でM-Audio Drum and Bass Rigはコンピュータにインストールされました。お使いになる前にソフトウエア認証の手続きを済ませる必要があります。次の「認証」のセクションを参照して下さい。

認証

1. M-Audio Drum and Bass Rigソフトウエアのインストールが完了したらホストのオーディオ・アプリケーションを起動します。（例：Ableton Live等）
2. M-Audio Drum and Bass Rigをロードしてウインドウを開きます。
3. Drum and Bass Rigウインドウの右上の角にある「M-Audio」ロゴをクリックするとダイアログが開きます。
4. 認証コード（Certification Code）を入力します（M-Audio Drum and Bass Rigパッケージに含まれる製品認証書に印刷されています）。
5. 認証コードを入力した後の認証方法は2種類あり、オンラインでの認証とオフラインでの認証から選択できます。コンピュータがインターネットに接続されていれば、「オンラインでの認証」、コンピュータがインターネットに接続されていない場合は「オフラインでの認証」の項目を参照して下さい。

オンラインでの認証（Certify On-Line）

1. 「Certify On-Line（オンラインでの認証）」ボタンをクリックすると、デフォルトのウェブブラウザが起動しM-Audioのウェブサイトが開きます。
2. ご登録情報を正確に入力し「Submit（送信）」をクリックします。
3. 入力したメールアドレス宛に認証のメールが送られてきます。メールの指示に従い認証を完了します。

オフラインでの認証（Certify Off-Line）

1. 「Certify Off-Line（オフラインでの認証）」ボタンをクリックすると、コンピュータのデスクトップにインターネット・ショートカットが作成されます。
2. このショートカットをディスクやメモリーカード等にコピーします。
3. ディスクやメモリーカード等をインターネットに接続されているコンピュータに接続します。
4. ディスクやメモリーカード等にコピーしたインターネット・ショートカットをダブルクリックするとウェブブラウザが起動しM-Audioのウェブサイトが開きます。
5. ご登録情報を正確に入力し「Submit（送信）」をクリックします。
6. 入力したメールアドレス宛に認証のメールが送られてきます。ディスクやメモリーカード等に認証を保存します。
7. ディスクやメモリーカード等をDrum and Bass Rigをお使いになるコンピュータへ接続します。
8. ディスクやメモリーカード等にコピーした認証をダブルクリックして認証を完了します。

Drum and Bass Rigをプラグインで使用する

M-Audio Drum and Bass Rigは、RTAS、VST、AUプラグインとして動作します。プラグインをロードする方法については、ホスト・アプリケーションの取扱説明書を参照して下さい。

Drum and Bass Rigをスタンドアロン・モードで使用する

M-Audio Drum and Bass Rigは、一般的によく使われるプラグインのフォーマットをサポートするだけでなく、スタンドアロン（単体）のアプリケーションとしても動作します。Macintoshをお使いの場合、スタンドアロン・モードのDrum and Bass Rigではオペレーティングシステムのデフォルトのオーディオ設定を使います。Windowsをお使いの場合、スタンドアロン・モードのDrum and Bass Rigでは追加の設定が用意されています。

Windowsスタンドアロン・モード

Drum and Bass RigスタンドアロンのWindows用アプリケーションは、アプリケーションのウインドウの最上部にコントロールが4つ用意されています。

コントロールの説明は以下の通りです（左から右）：

サウンドカード・セレクタ：このコントロールでは、オーディオを出力するサウンドカードを選択します。

出力セレクタ：このコントロールでは、Drum and Bass Rigのオーディオ出力端子を選択できます（複数の出力端子を装備したサウンドカードのみ）。

Onボタン：クリックしてDrum and Bass Rigのオン/オフを切り替えます。

Cfg...：クリックすると選択したサウンドカードのASIOコントロールパネルを開きます。

M-Audio Drum and Bass Rigを使用する

M-Audio Drum and Bass Rigは、4種類のインストゥルメントと、マスターエフェクト・ジェネレータ、グローバル設定を搭載しています。これらの機能の説明は以下の通りです。

グローバル設定

Drum and Bass Rigの最上部がグローバル設定で、全てのインストゥルメントを共通にコントロールします。

認証ダイアログ：Drum and Bass Rigの一番上の欄で、左のDrum&Bass Rigまたは右のM-Audioのロゴをクリックすると認証ダイアログが開きます。また、ここではDrum and Bass Rigのバージョン情報がご覧頂けます。

Load（ロード）/Save（保存）：Drum and Bass Rigの一番上のLoad（ロード）/Save（保存）ボタンではバンクファイルをロード/保存できます。バンクファイルには、プログラム/パッチ情報、MIDIチャンネルとMIDI CC割当て、ボリューム、パンニング、キーレンジ、トランスポーズ、MFX（マスターエフェクト）センド、ファインチューン、テンポ、マスタースイング、マスターボリュームパラメータが含まれます。ホスト・アプリケーションに表示されるメニューからもバンクをロード/保存が可能です。Drum and Bass Rigのバンクは「Drum and Bass Rig Patches」フォルダに保存されています。

マスターエフェクト

マスターエフェクトのセクションをクリックするとドロップダウン・メニューが表示され、49種類のエフェクト・アルゴリズムがタイプ別のサブメニューに種分けされています。エフェクト・タイプのリストは本マニュアル最後の「エフェクト・プリセット」を参照して下さい。

任意のエフェクトを選択するとエフェクトの名前が表示され、名前の下に各エフェクト用の編集パラメータ2種類とミックスパラメータが、プログラム済みの有効なプリセット設定と共に表示されます。2種類のエフェクト編集パラメータは、使用するエフェクトのタイプによって異なります。例えばリバーブのエフェクトであれば、パラメータは「Size」と「Damp」（ルームサイズとダンピング）と表示され、ディレイのエフェクトであれば「Time」と「Fbk」（ディレイの時間（スピード）とフィードバック（再生成））と表示されます。

Mix：MFX（マスターエフェクト）のウエット/ドライのバランスをコントロールします。

Fine Tune：Drum and Bass Rigに含まれる全てのインストゥルメントのファインチューニングを調節します。

Temp：ソングのテンポを設定することができます。これによりDrum and Bass Rigがホストからのテンポを検出していない時にテンポ・シンクのディレイとLFO（Low frequency Oscillator低周波発信器）が設定できます。

Master Volume：Drum and Bass Rig全体の出力ボリュームをコントロールします。

Master Swing（マススタースイング）：LC-5とBL-6だけに影響するスイングコントロールです。

MIDI CCコントロール

Drum and Bass Rigでは、全ての有効なパラメータはMIDI CCが割当て済みです。M-Audioのキーボードでは、GMパッチを読み込めば直ぐにMIDIコントロールが使用できます。

設定をカスタマイズすることも可能で、Windowsコンピュータではパラメータを右クリック、Macintoshではコントロールキーを押しながらクリックするとメニューが開き、以下のオプションが表示されます。

CC：このオプションの上にマウスを合わせると、有効なMIDI CCのリストがポップアップしリストから任意のMIDI CCを選択できます。

Learn：このオプションを選択してハードウエアのMIDIコントローラを動かすと、自動的にパラメータ（MIDI CC）を割当てることができます。

Forget：このオプションを選択するとMIDI CCの割当てを解除します。

注意：各MIDI CCは一度に一つのパラメータだけをコントロールすることができます。

インストゥルメント・コントロール

Drum and Bass Rigに搭載された各インストゥルメントの右側には、インストゥルメントのコントロール各種とミキサーが装備されています。

Load（ロード）/Save（保存）：Drum and Bass Rigの一番上にあるグローバル設定のロード/保存メニュー加えて、各インストゥルメントにもロード/保存メニューとパッチのライブラリが装備されています。Load/Saveの上にはドロップダウン・リストがあり、それぞれのインストゥルメントに設定されたファクトリー・コンテンツを選択できます。パッチがロードされるとスロットにはパッチの名前が表示されます。LoadまたはSaveボタンをクリックすると、Load/Saveダイアログが表示されます。選択したインストゥルメントに対応する名前の付いたフォルダから、パッチをロード/保存ができます。

Hi/Lo：インストゥルメントのキーの範囲を設定します。Hiに最高のノートを選択しLoには最低のノートを選択します。

Tr：インストゥルメントを最大で24セミトーン上下にトランスポーズ（移調）します。

Ch：インストゥルメントを演奏するMIDIチャンネルを選択します。

MFX：Drum and Bass Rigの最上部にあるマスターエフェクトのセンドレベルを設定します。

Pan：インストゥルメントのパンを設定します。

On：インストゥルメントのオン/オフを切り替えます。

Volume：インストゥルメントのコントロールセクションの右側にあるスライダーは、インストゥルメントの音量をコントロールします。インストゥルメントを演奏すると出力レベルが表示されます。

LC-5 Loop Creator

LC-5 Loop Creatorは、23セット（スタイル）に各12種類のスライスされたループを内蔵したスライス・ループ・プレーヤーです。これらのループはどんなテンポにもシンクします。各セットに含まれるループは、アラビックやハウスのように音楽スタイルが特定されています。また、これらのループはMIDIキーボード（C2からB4までの3オクターブ）の鍵盤に自由に割当てができ、各ループを組み合わせたり（複数のMIDIキーを演奏）、アレンジしたり、様々な方法で編集することができます。一番下のCがC2になるような小型のM-Audio MIDIキーボードには、C2-B4の範囲を選択します。便利な機能としてC2-B4の範囲は上（C5-B7）や下（C1-B1）に複製することもできますが、これらは同じゾーンが重複しているだけですので、編集すると他のゾーンの同じキーにも影響することに注意して下さい。

LC-5はご自分のループをインポートすることはできません。

LC-5の中央には波形のウインドウがあり、選択したループのスライスが表示されます。波形インスペクタには「Low」「Mid」「High」の黄色いボタンが3つあります。低周波帯域、中周波帯域、高周波帯域に分割し、それぞれの帯域ごとのスライスを帯域別にミュートしたり再生したりする時に使います。波形の下には「ソートゥース」キーボードがあり、マウスを使ってキー（ループ）の再生や編集するキー（ループ）を選択することができます。このキーボードで一番右のCはストップ（停止）キーです。

LC-5マスターセクション
以下のコントロールはLC-5パッチの全てのループに影響します。

Punch：パンチは特別なコンプレッションのアルゴリズムで、アタックを強調し低周波のダイナミックなシグナルを大きくします。

Loose/Tight：タイミング/クオンタイズをコントロールします。ノブを動かすと波形インスペクタにはタイミングの変化が表示されます。真上にするとタイミングに変化がないことを示します。右に回すとループのタイミングをクオンタイズし、左に回すと自然なタイミングが強調されます。

Latch：ラッチモードが有効の時、トリガーされている全てのループやノートは、ラッチモードを解除するか「Stop（停止）」キーを押すまで音が継続します。

KeyF：MIDIを使って編集するためのMIDIキーやループを選択します。

Loopの編集
LC-5の左側に装備されているノブ6個とメニュー3個を使ってパッチに含まれる各ループのパラメータを編集します。編集するループまたはキーを選択するには「ソートゥース」のキーボードをクリックするか、KeyFを有効にしてMIDIキーを使います。

Level：選択したループのボリュームを調節します。

Pan：選択したループのパンを調整します。

Pitch：選択したループのピッチを最大で1オクターブ上下に調節します。

Decay：選択したループの各スライスのディケイ・タイム/レングス（長さ）を調節します。

Speed：選択したループのスピードを調節します。一番左まで回すと速度が1/2で、一番右が2倍速です。

Filter：選択したループのカットオフ・フィルタを調節します。左に回すと高周波数帯域を少なくします。

ドロップダウン・メニュー

Loop Select：キーに割当てられているループを表示します。また、キーに（有効な12種類のループから）その他のループ割当てることもできます。キーには有効なループであればどのループでも割当てることができ、全てのキーに同じループを割当てることもできます。初期設定では、Cのキーは全てループ1でC#のキーはループ2という具合に、キーには単純な順序でループが割当てられています。オクターブC2-B2には、各ループの標準バージョンが含まれ、その他の2オクターブについては各ループのバリエーションが含まれます。例えば、C2はベースループの標準バージョンですが、C3には同じループでもスライスの順序が異なります。C4でも同じループですが、また別のバリエーションが含まれます。つまりノートが同じでもオクターブが異なると、同じループでもバリエーションが異なります。

Play Events：タイミング・グリッドに従って演奏されるループのスライスを選択します。例えば「16th」を選ぶと16分音符よりも速いノートは取り除かれます。「Odd 16th」では16分音符のオフビートのスライスだけが演奏されます。

Play Order：スライスを並べ直し（交換）してループをアレンジします。例えば「Swap 2nd」を選択すると最初のビートと2番目のビートを入れ替え、3番目のビートと4番目のビートを入れ替えます。

BL-6 Bassline

BL-6 Basslineは、クラシックなモノフォニックのステップ・シーケンサーで、4基のオシレータ・ウエーブフォームと最大16ステップのシーケンサー、ディレイ、ディストーションを搭載しています。各パッチにある12パターンは、一般的にベースラインのバリエーションです。これらのパターンは演奏中にC4（パターン1）からB4（パターン12）までのMIDIキーを使って変更することができます。ベースラインは、「Play」ボタンをオフにすればモノフォニック・シンセ（シーケンサーの演奏不要）として演奏することもできます。BL-6の中央にはステップ・シーケンサーの値を表示する帯が装備され、その下のキーボードはクリックすると演奏することができます。

Oscillator（オシレーター）のセクション

Wave：BL-6には、4タイプの波形（ノコギリ波、矩形波、三角波、ユニゾンノコギリ波）が搭載されています。

Sweep：選択したウェーブのシェープをコントロールします。
Sawtooth（ノコギリ波）：シンクを変化させます。
Square（矩形波）：パルスの幅を矩形波からパルスへと変化させます。
Triangle（三角波）：トライアングルをクリップして徐々にTB-303同様の傾斜のついた矩形波になるようにします。
Unison Saw（ユニゾンノコギリ波）：ノコギリ波のユニゾンをディチューンします。

Decay：フィルターエンベロープのディケイ・タイム — フィルターエンベロープのアタックタイムとサスティーンレベルの両方がゼロのため、ディケイ・パラメータはフィルタースイープのスピードをコントロールします。

Depth：フィルターエンベロープのデプス — フィルターエンベロープのスイープの量をコントロールします。

Cutoff：カットオフ周波数を設定します。

Resonance：フィルターレゾナンスの量をコントロールします。

Glide：ポルタメントタイム — シンセが任意のノートから次のノートへスライドする時間をコントロールします。

Drive：ディストーション — 特別にプログラムされたオーバードライブのエフェクトをコントロールします。

Delay（ディレイ）のセクション

Time：テンポ・シンクのディレイエフェクトのディレイ・タイム（スピード）をコントロールします。このノブの上にマウスを置くとディレイ・タイムが表示されます。

Fbk：ディレイエフェクトのフィードバック（再生成）をコントロールします。

Mix：ディレイエフェクトのウエット/ドライのバランスをコントロールします。

ステップ・シーケンサーのセクション

ステップ：ステップ・シーケンサーの右にあるStepsのボックスには、シーケンサーで使うステップの数を設定します。このボックスの上でクリックしたまま下または左に動かすと、ステップの数が減少（使用しないステップはグレイで消えた状態になります）します。同様にクリックしたまま上または右に動かすとステップの数を最大16ステップまで増やすことができます。

Grid：演奏の速度を8分音符、8分音符の三連符、16分音符に設定します。

Pattern：ドロップダウン・メニューの合計12種類のパターンから演奏/編集するパターンを選択します。

編集

以下のパラメータは、BL-6のステップ・シーケンサーを使って編集することができます。ステップ・シーケンサーの左中央にあるドロップダウン・メニューのリストからパラメータを選択し、編集するステップをクリックしてパラメータ値を変更します。シーケンサーが演奏中で、シーケンスのポジションを表示する赤いLEDが点灯している時にパラメータを変更できます。

Note：全てのノートをプラス/マイナス24セミトーンでステップのピッチを編集します。ゼロに設定すると空白（ノート無し）になります。

Accent：連続したノートにはアクセントをつけることができます。アクセントを付けるとノートが少しだけ大きく明るい音になります。

Glide：ノートがその前に演奏されたノートからグライドするかどうかを切り替えます。グライドタイムは「Glide」ノブで設定しますが、「グライドタイム」のパラメータ（下）ではグライドタイムによりシーケンスの中の個々のステップのオフセットを調節します。

Depth：デプス（フィルター・エンベロープのデプス）のノブの設定に対してオフセットを調節します。

Cutoff：カットオフ・ノブの設定に対してオフセットを調節します。

Resonance：レゾナンス・ノブの設定に対してオフセットを調節します。

Glide Time：グライド・ノブの設定に対してオフセットを調節します。グライド設定されている各ステップにそれぞれグライドスピードを設定します。

Scale：特定の音階の中でシーケンスを演奏するように設定します。音階を制限しない場合は「Chromatic」を使います。

RD-7 Real Drum Module

RD-7は、ステレオ・ドラム・モジュールでドラムサウンド100種類とGM規格対応パーカッションのフルセットを収録しています。ドラムはGM規格マッピング（A#0-C5）に従ってマップされ、オーバーヘッドとルームマイクがミキシング可能で、特別にプログラムされたエフェクトが各キットに搭載されています。下部のボタン式のキーボードを使って、ドラムのサウンドを簡単に試聴/割当て/編集ができます（タム、ハット、クラッシュ、ライドなどはセットとして扱います）。

Edit Select
このドロップダウン・メニューを使うか、または下のキーボードのパッド/キーをクリックして、編集するサウンドまたはセットを選択します。パッド/キーをクリックすると現在選択しているサウンドを試聴することができます。

Sound Select
選択したパッド/キーのサウンドまたはセットを選択します。

サウンド編集ノブ
左側の編集ノブ6系統では選択したパッド/キーのみをコントロールします。

Tune：選択したインストゥルメントまたはセットをファインチューンします。

Tone：選択したインストゥルメントまたはセットのローパス・フィルターを調節します。左に回すとサウンドのトレブル（高域）を少なくします。

Decay：選択したインストゥルメントまたはセットのディケイやリリースタイムを短くします。

Pan：選択したインストゥルメントまたはセットのパンをコントロールします。

Level：選択したインストゥルメントまたはセットのボリュームをコントロールします。

FX：各プリセット・キットにはプログラムされたスペシャルエフェクトをコントロールします。これらのスペシャルエフェクトは編集することはできませんが、ほとんどがリバーブで、ディストーションやモジュレーションなども含まれます。

Masterセクション

OH：キットのオーバーヘッドマイクの全体的なレベルをコントロールします。

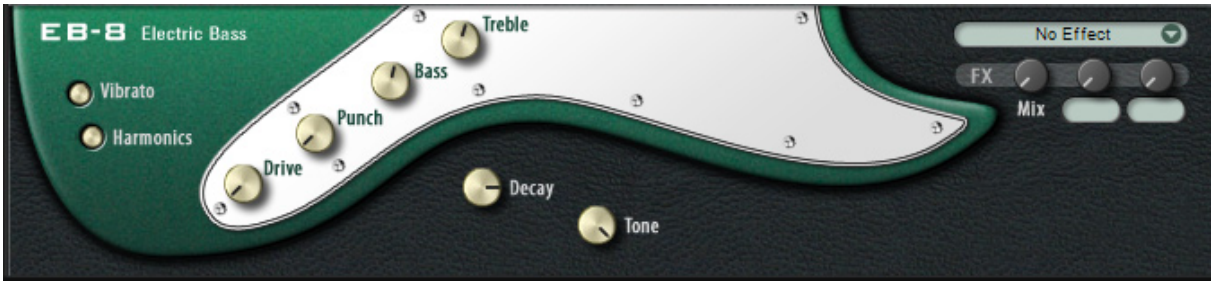
Room：キットのルームマイクの全体的なレベルをコントロールします。

Size：ドラムルームのサイズを調節します。

FX：キットに装備されたプログラム済みのエフェクトの全体的なレベルをコントロールします。

EB-8 Electric Bass

EB-8は、エレクトリック・ベース・ギター・モジュールで、様々なフィンガー・ピック、フレットレス、スラップ等のエレクトリックベース、アコースティックベース、シンセベースのパッチが搭載されています。全てのエレクトリックベースのサウンドは、スライド、デッドノート、フレットノイズ（C5-C6）、ハーモニックス等が追加で装備され、モジュレーションホイールで切り替えができます。各パッチには固有のエフェクトが装備され、各サウンドには編集のためのコントロールが数多く装備されています。



サウンドコントロール

Drive：チューブアンプ・オーバードライブを調節します。

Punch：特別なコンプレッションのアルゴリズムにより、アタックを強調しサウンドのサスティーン部分をコントロールします。

Bass：低周波帯域EQをコントロールします。

Treble：高周波帯域EQをコントロールします。

Decay：ベースノートがサスティーンする時間を設定します。

Tone：ローパス・フィルターをコントロールします。

モジュレーション・ホイール・レスポンス

左側のノブ2つは、EB-8がモジュレーション・ホイールのシグナルに対する反応を設定します。

Vibrato：このボタンを押した状態にすると、モジュレーション・ホイールはビブラートのデプスをコントロールします。

Harmonics：このボタンを押した状態でモジュレーション・ホイールを65以上にすると、エレクトリックベースのパッチ（だけ）がハーモニックスを演奏するようになります。

少し練習すれば、簡単にビブラートやハーモニクスをかけて通常のベース演奏ができるようになりますが、この2つのスイッチを使えば、モジュレーション・ホイールの動作を選択することができます。

M-Audioへのお問い合わせ

Drum and Bass Rigは音楽スタジオでお使い頂くのに最適なツールとしてM-Audioが自信を持って開発したソフトウエアですが、ホストコンピュータの種類により、多少、困難な事態が発生する場合があります。Drum and Bass Rigが適切に動作しない場合は、M-Audioのテクニカルサポートまで連絡して下さい。

M-AUDIO U.S. -
5795 Martin Road, Irwindale, CA 91706-6211, U.S.A.

Sales Information: 626-633-9050
Sales (fax): 626-633-9070
Sales Information (email): info@m-audio.com
Tech Support (email): techsupt@m-audio.com
Tech Support (fax): 626-633-9060
Internet Home Page: http://www.m-audio.com

M-AUDIO Deutschland (Germany) -
Kuhallmand 34, D-74613 Ohringen, Germany

Sales Information: +49 (0)7941 987000
Sales Information (email): info@m-audio.de
Technical Support: +49 (0)7941 9870030
Technical Support (email): support@m-audio.de
Technical Support (fax): +49 (0)7941 98 70070
Internet Home Page: http://www.m-audio.de

M-AUDIO U.K. -
Floor 6, Gresham House, 53 Clarendon Road, Watford, WD17 1LA, United Kingdom

Sales Information (phone): 44 (0) 1923 204010
Sales Information (fax): 44 (0) 1923 204039
Sales Information (email): info@maudio.co.uk
Technical Support (PC): 44 (0) 1309 671301
Technical Support (Mac): 44 (0) 1765 650072
Technical Support (email): support@maudio.co.uk
Internet Home Page: http://www.maudio.co.uk

M-AUDIO Canada -
1400 St-Jean Baptiste Ave. #150, Quebec City, Quebec G2E 5 B7, Canada

Technical Support (e-mail): techcanada@m-audio.com
Technical Support (PC): (418) 872-0444
Technical Support (Mac): 1-800-638-2120
Technical Support (fax): (418) 872-0034
Sales (e-mail): infocanada@m-audio.com
Sales (phone): (866) 872-0444
Sales (fax): (514) 396-7102
Internet Home Page http://www.m-audio.ca

M-AUDIO France -
Floor 6, Gresham House, 53 Clarendon Road, Watford, WD17 1LA, United Kingdom

Assistance Technique (aucune questions reliées aux ventes)
courriel (assistance PC): support@m-audio-france.com
courriel (assistance Mac): mac@m-audio-france.com
téléphone (assistance PC): 0820 000 731 (0,12 Euros par minute)
téléphone (assistance Mac): 0820 391 191 (0,12 Euros par minute)
télécopieur/fax: 01 72 72 90 52
Ventes (aucun appels d'assistance technique)
téléphone: 0810 001 105 (Numero Azur)
courriel: info@m-audio-france.com
télécopieur/fax: 01 72 72 90 52

M-AUDIO Japan -
（株式会社エムオーディオジャパン）460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 2-18-10

テクニカルサポート: 052-218-0859
テクニカルサポート (Macintosh): mac-support@m-audio.co.jp
テクニカルサポート (Windows): win-support@m-audio.co.jp
Fax: 052-218-0875
ホームページ: http://www.m-audio.co.jp

日本語

ユーザー登録

ユーザー登録を行わなければ製品保証や技術的なサポートを受けることができません。ユーザー登録を行うには、次の3つの方法があります。環境に合わせた方法でユーザー登録を行って下さい。1.）コンピュータで（一般的なWebブラウザ）エムオーディオジャパンWebサイトへアクセスできる方：エムオーディオジャパン　オンラインユーザー登録ページhttp://www.m-audio.co.jp/register/index.htmlにて、必要事項を入力して送信して頂ければ弊社製品のユーザーとして御登録致します。尚、ユーザー登録完了の御案内は行っておりませんのでご了承下さい。2.）携帯電話でエムオーディオジャパンWebサイトへアクセスできる方：エムオーディオジャパン　モバイルサイトのオンラインユーザー登録ページhttp://www.m-audio.co.jp/mobile/にて、必要事項を入力して送信して頂ければ弊社製品のユーザーとして御登録致します。尚、ユーザー登録完了の御案内は行っておりませんのでご了承下さい。3.）インターネット接続環境が無い方：付属の「ユーザー登録はがき」に必要事項を記入して返信して頂ければ、弊社製品のユーザーとして御登録致します。尚、ユーザー登録完了の御案内は行っておりませんのでご了承下さい。

LC-5 Loop Creator Patches

01	Arabic	15	House 2
02	Rock 1	16	Latin 2
03	Jazz	17	Reggae
04	Latin 1	18	Rnb 1
05	Bigbeat	19	Rnb 2
06	Dnb 1	20	Rock 2
07	Dnb 2	21	Techno 1
08	Downtemp	22	Techno 2
09	Dub	23	Techno 3
10	Electro		
11	Funk		
12	Hip Hop 1		
13	Hip Hop 2		
14	House 1		

BL-6 Bassline Patches

01 Melodic Line	21 Crazy Bass	41 TB Saw 4
02 Noise Bass	22 Dist Fat Bass	42 TB Saw 5
03 Industrial	23 Dist Saw Bass	43 TB Saw FX
04 Dist TB Saw 1	24 DistTB Saw 2	44 TB Sq 1
05 Filter Bass	25 Three Sync	45 TB Sq 2
06 Eyeliner	26 E-Bass	46 TB Sq 3
07 Pulse Bass 1	27 EBM Line 2	47 TB Sq 4
08 Downbeat	28 Slow Space	47 TB Sq 5
09 Bass War	29 Clean & Nice	48 Wicked Line
10 Overtone Baz	30 Fun Electric	49 Tri Angel
11 Dark Baseline	31 Industrial 2	50 Tri Some
12 Bad Square	32 Offbeat	51 TriPPer
13 Resonar	33 Old School	52 Tri Stesse
14 Waltz Line	34 Pattern Melo	
15 Wicked Pulse	35 Pulse Bass 2	
16 Dist TB SQ1	36 Slow Waltz	
17 EBM Line 1	37 Sync Bass	
18 80s Bass	38 TB Saw 1	
19 Bizarre Biz	39 TB Saw 2	
20 Club Bass	40 TB Saw 3	

RD-7 Real Drums Patches:

01 Pop Kit 1	16 Funk Kit 2
02 Pop Kit 2	17 Soul Kit 1
03 Pop Kit 3	18 Soul Kit 2
04 Pop Kit 4	19 RnB Set 1
05 Live Kit	20 RnB Set 2
06 Rock Drums 1	21 Jazz Brushes
07 Rock Drums 2	22 Jazz Sticks
08 Classic Rock Kit 1	23 Mod Kit
09 Classic Rock Kit 2	24 Hi Tuned Kit
10 Hip Hop	25 Mini Kit
11 Modern RnB	26 Big Arena
12 Gated Kit	27 Distorted Drums
13 Heavy Drums 1	28 Megaphone Kit
14 Heavy Drums 2	
15 Funk Kit 1	

EB-8 Electric Bass Patches:

00 Finger 1 DI	35 Slap 2 Delay
02 Finger 1 Amp	36 Acoustic DI
03 Finger 1 Punch	37 Acoustic Amp
04 Finger 1 Dirty	38 Acoustic Punch
05 Finger 1 Chorus	39 Acoustic Dirty
06 Finger 2 DI	40 Acoustic Reverb
07 Finger 2 Amp	41 Synth Bass DI
08 Finger 2 Punch	42 Synth Bass Amp
09 Finger 2 Dirty	43 Synth Bass Punch
10 Finger 2 Autowah	44 Synth Bass Dirty
11 Pick 1 DI	45 Synth Bass Gate
12 Pick 1 Amp	46 Ultrasynth DI
13 Pick 1 Punch	47 Ultrasynth Amp
14 Pick 1 Dirty	48 Ultrasynth Punch
15 Pick 1 Phaser	49 Ultrasynth Dirty
16 Pick 2 DI	50 Ultrasynth Phaser
17 Pick 2 Amp	51 Sub Bass DI
18 Pick 2 Punch	52 Sub Bass Amp
19 Pick 2 Dirty	53 Sub Bass Punch
20 Pick 2 Slapback	54 Sub Bass Dirty
21 Fretless DI	55 Sub Bass Squash
22 Fretless Amp	
23 Fretless Punch	
24 Fretless Dirty	
25 Fretless Chorus	
26 Slap 1 DI	
27 Slap 1 Amp	
28 Slap 1 Punch	
29 Slap 1 Dirty	
30 Slap 1 Slapback	
31 Slap 2 DI	
32 Slap 2 Amp	
33 Slap 2 Punch	
34 Slap 2 Dirty	

エフェクト・プリセット:

以下のエフェクトはMFX（マスターエフェクトとEB-8エレクトリックベース）に用意されたものです。

		Parameter 1	Parameter 2
Reverb			
	Chorus Reverb	Chor Depth	Rev Time
	Room Reverb 1	Size	Damping
	Room Reverb 2	Size	Pre-Del
	Hall Reverb 1	Size	Damping
	Hall Reverb 2	Size	Pre-Del
	Plate Reverb	Size	EQ
	Gate Reverb	Size	EQ
	Early Reflections	Size	EQ
Delay			
	Delay	Delay	Feedback
	Lofi Delay	Delay	Feedback
	Stereo Delay	Delay	Feedback
	Lofi Stereo Delay	Delay	Feedback
	Ping Pong	Delay	Feedback
	Lofi Ping Pong	Delay	Feedback
	Gallop Echo	Delay	Feedback
	Vox Tape Echo	Delay	Feedback
Chorus			
	Chorus	Rate	Depth
	Rich Chorus	Rate	Depth
	Ensemble	Rate	Depth
	Space Chorus	Rate	Depth
	Quad Chorus	Rate	Depth
	Stereo Width	Width	Delay
Tremolo			
	Tremolo	Rate	Shape
	Autopan	Rate	Shape
	Rotary Speaker	Slow/Fast	Rate
Flanger			
	Flanger	Rate	Depth
	Deep Flanger	Rate	Depth
	Death Flanger	Rate	Depth
Phaser			
	Phaser	Rate	Depth
	Deep Phaser	Rate	Depth
Wah Wah			
	Auto Wah	Depth	Frequency
	Mod Wah	Rate	Depth
	Talkbox	Rate	Vowel
Pitch Shift			
	Detune	Detune	Delay
	Stereo Pitch	Left	Right
EQ			
	2 Band EQ 1	Low Gain	Hi Gain
	2 Band EQ 2	Low Gain	Hi Mid Gain
	Sweep EQ Wide	Gain	Frequency
	Sweep EQ Sharp	Gain	Frequency
	Enhancer	Hi Tune	Lo Depth
Distortion			
	Distortion	Drive	Tone
	Amp Simulator	Drive	Amp Model
	Feedback Amp	Drive	Amp Model
	Overdrive	Drive	Shape
	Bit Crusher 1	Bit Depth	Rate
	Bit Crusher 2	Bit Depth	Rate
Dynamics			
	Attack Compressor	Drive	Ratio
	Squash Compressor	Drive	Ratio
	Limiter	Drive	Attack

日本語